

◆中学生の職業体験を受け入れました

2025 年 3 月 31 日

医療法人一祐会 介護老人保健施設ハーモニー



2025 年 2 月 12 日より 3 日間、寝屋川市の中学生 3 名（2 年生）が介護老人保健施設ハーモニーへ職業体験学習にやってきました。

この学習では、勉強や働く意義の理解、進路についての意識を高めることを目的としています。

初日は、施設案内から始まり、利用者さんとの接し方や基本的な介護技術のレクチャーを受けました。続いて、利用者さんを少しでも理解できるよう、加齢に伴う不便さを専用の器具を身に着けて経験する「高齢者体験」や車いすに乗る人の介護体験をしました。

2 日目は、リハビリの現場を見学したり、実際に利用者さんへの食事配膳を行いました。さらには、医師・看護師・作業療法士・介護福祉士・事務職員などさまざまな職種の人にインタビューを行いました。初めは緊張で様子をうかがっていた生徒さんも、日を追うごとに積極的になる姿が見られました。

●自分たちでレクリエーションを考案



最終日は、生徒 3 名にレクリエーションを考案してもらい入所者の方を対象に実施してもらいました。

2 階フロアに入所している 23 名が参加し、全員でどれだけたくさんの食べ物の名前を挙げられるか、というオリジナルの「食べ物ゲーム」を行いました。ゲームが始まると生徒さんが参加者へ「甘い食べ物で思いつくものはありますか?」「丸い食べ物は何でしょう?」「小さい頃によく食べた物は?」と頻繁に声をかけ、答えをイメージしやすいよう工夫していました。

「施設には、認知症の方や耳の遠い方も入所されているので、みんなが参加できるゲー

ムを考えてみてください」という担当者の問いかけに対して、当初考えていた「山手線ゲーム」から、どうしたらみんなが楽しく参加しやすくなるのかと、工夫し、この形に至りました。

ゲーム終了時には約 30 の食べ物の名前が列挙されていました。参加している方からは、「頑張っている姿が良かった」「来てくれるだけで元気になる」といった感想が聞けました。

ハーモニィの通所リハビリに通う方の中に、第十中学校の先輩である 3 期生がいます。“大先輩”は「生徒さんに最後に会いたい」と 1 階デイケアへ 3 人を呼びました。利用者さんは大変嬉しそうに中学校の話をされていました。

職業体験は 3 日と短い間でしたが、生徒の皆さんは、たくさんの人に元気を与えてくれました。

●いろいろな大人に出会ってほしい



中学生の受け入れを担当したハーモニィ療養部長の山本深雪看護師は、「世の中では”大変、きつい、汚い、”といったようなイメージがある介護施設ですが、ここは、人生の大先輩に関わらせてもらえる場所です。現場のスタッフは気持ちよく楽しく過ごしてもらえるよう工夫し、明るさと元気を大切にしています。そして入所者さんから多くのことを学んでい

ます」

「今回の受け入れでは、現場を見てもらい、また、いろいろな職種の人と話せるようプログラムを組みました。学生の方にはたくさんの方に出会ってほしいですし、行動力が身につくといいなと思いました」と話します。

今回の体験が少しでも今後の進路選択の参考になれば幸いです。

●3日間の職業体験の感想

- 身近に高齢の方がいないので、最初は緊張しました。だんだんと距離が縮まり、コミュニケーション力が付いた。
- 介護の仕事では食べにくさを考えて、食べる形状を変えるなどの工夫をしていることを初めて知った。
- 始めはどうしたらいいか分からなかったけど、慣れるうちに動けるようになった。
- 3日間通して行動力がついた。
- 聞く力がついた。